

ささゆり



令和3年11月22日
発行 南蟹谷交流センター
〒939-1603 南砺市砂子谷 1500
Tel.58-1333
メールアドレス minamikandani.
kmn@gmail.com



スマホから交流センター
ホームページにつながります

子育て真っ只中

川村 優子

日頃から地域の皆様にはいろいろとお世話になり、ありがとうございます。私は人母地区で育ち、結婚後は小矢部市に住まいを移していましたが、出産を機に人母の実家で同居を始めました。現在6人家族です。

子供はみどり組(年長)の女の子と3歳の男の子の2人です。福光どんぐり保育園に通っています。コロナ禍で親子遠足や生活発表会など中止になった行事もありましたが、9月には規模縮小ではありましたが、運動会が行われみどり組51名が元気よく鼓笛隊やリレーを頑張っていました。南蟹谷地区で来年小学1年生になるのは3名です。ランドセルも届き、春からはバスで小学校に通えることを楽しみにしています。

私は休日、畑で野菜を収穫したり、お宮さんまで散歩に行っでどんぐりや木の実を拾ったりして、南蟹谷地区ならではの自然豊かな子育てを实践中です。イノシシやサル、タヌキやウサギにリスなど、間近に野生動物と遭遇することもあるので、子供たちにとっても楽しいかなと思っています。たまに「どうしてうちだけ山の中にあるの?」と聞かれることもあります。

6月には子育て部会の方に企画していただいた、わくわく子育て応援サークル(絵本の読み聞かせや紙芝居、オリジナルの傘づくり)に参加しました。子供たちは、そのときのことを今も覚えていて、そのとき作った傘を大切に使っています。

子育ては家族だけでなく、地域の方々に助けてもらって成り立つものだと自分自身が親になって、より一層実感しました。そして、自分が生まれ育った地域で子育てができることは幸せだと感じております。子供たちにも南蟹谷地区に親しみをもち、誇りに思ってもらえたら嬉しいです。



◆米寿の方への祝い状・祝い品贈呈 10月10日(日)各地区

今年もコロナのため敬老会が中止となり、戸成協議会長と谷浦健康・福祉部会長が米寿の方7名に賞状とお祝いの品を届けました。



【12月・1月の予定】

- 12/2 地域づくり協議会役員会
- 12/8 福寿大学(おしゃれな正月飾り～身近な材料を使って～)
- 1/9 南砺市成人式(二十歳のつどい)
- 1/12 福寿大学(松村謙三と中国)



敬老会対象者の方へお配りした、お祝いメッセージ&地元産の「そくさいや茶」と、ぬく森の郷のお弁当です。
お届けに協力頂いた老人クラブの皆さん、ありがとうございました。



◆福寿大学 11月10日(水) 講師 大福寺住職 太田 浩史師
「真宗の土徳」



◆文化講演会 11月14日(日) 生涯学習・子育て支援部会



戸成協議会長の挨拶

今年の予定を立てるときに、コロナで暗くなっている空気を明るくしたい！！という声が部会で上がり、楽しく笑えるものということで演奏会&落語会を計画しました。
昨年「南蟹谷まつり」で演奏していただいた「富山ホルニステン」さんと「安野家仁楽齋(やすのや・にらくさい)」さん、「軽知家美代賀(かるちや・みよが)」さんに出演をお願いしました。

文化講演会
～ホルン演奏・落語会～
🎵 みんなで笑って楽しもう 🎵
場所 南蟹谷交流センター 集会場
日時 令和3年11月14日(日曜日)

〇タイムスケジュール〇

- 9:00～9:15ごろ 開会
- 9:15～9:45ごろ 富山ホルニステン 演奏会
- 10:00～11:00ごろ 落語会
- 11:00～11:10ごろ 閉会

あたたかい飲み物付です。みなさん是非、遊びに来てください！！

出演者プロフィール

富山ホルニステン
2010年8月に結成したアマチュアのホルンアンサンブル団体です。ホルンをこよなく愛し、アンサンブルが大好きなメンバーです。南蟹谷の方もメンバーに入っています。

安野家仁楽齋(やすのや・にらくさい)
大阪出身。社会人落語家集団「はらくさい」所属。1994年から社会人落語家として活動をはじめる。2013年から防犯機器・交通安全落語・防火落語に取り組みます。弟子の軽知家美代賀(かるちや・みよが)とお馴染みです。一緒に楽しい時間を過ごしましょう！！

主催 南蟹谷地域づくり協議会 生涯学習・子育て支援部会



来場された方には、手の消毒・検温・名簿に記入をお願いしました。



出待ち中！



富山ホルニステン
ゲーム音楽やCM・童謡等を混ぜた演奏で来場者を楽しませ、アンコール曲の笑点のオープニングテーマでは会場が一層盛り上がりしました。



自己紹介



軽知家美代賀(かるちや・みよが)さん
こういう場所で落語をするのは初めてだったそうです。



安野家仁楽齋(やすのや・にらくさい)さん
短いお話と長いお話をされました。さすがに本業がアナウンサーということで、下見に来られたときのエピソード等を交え笑いを誘っていました。

